

文庫あれこれ◆来てみたら、植木屋さんが、庭の雑草を刈っていったくれたあとに、モグラでしょうか、盛り土や穴が点々とみられます。早朝、ちょっとこい、ちょっとこいと鳴いている？コジケイに目が覚めて起きだし、朝日を受けてみどりの蔭が本棚に映るを見るとき、あー新しい一日がはじまる！と元気に思います。◆今年7月20日が海の日です。海運国日本を祈念して作られた日。海に囲まれている日本、海の恩恵に浴している伊豆半島。私たち、生物の生命が誕生した母なる海について、ときには考えてみたいものです。◆この文庫も3年まえ、そんなシンボリックな日に誕生しました(沙羅の樹文庫は、伊豆高原駅の楠の下での「海の日のおはなし会」の延長線上に生まれました)。ちょっとしみじみしてしまいます。◆利用者の方々のニーズをしっかり受けとめ、子どもも大人も素晴らしい本の世界をゆったり、たっぷり、味わえる空間を作るという軸足がぶれないよう、みなさんと歩をすすめていきたいと思えます。できる範囲でしかできませんがこれからも、よろしくお願いします。強い助っ人さんがたくさんいて、ありがたいです。◆この3歳の誕生日から、ちょっと本の貸出、返却の仕方が変わります。図書番号のみで管理していたのですが、自分が何の本を借りたか、文庫にどんな本があるか、全部わかるようになります(しばらくは、ちょっと時間がかかるかもしれませんが)。掛りのほうも慣れるまで、お付き合いください。◆日曜の午前は子どものおはなし会です。時間に余裕のある大人の方は、午後からおいでくださると、ゆっくり本が選べます。◆最近、年のせいかわかると、自分の来し方や、性格についてこんなでよかったのか、と、ぐちぐち考え込んでしまうことがあります。そんなとき、この詩を見つけました。こんな気持ちの潔さ、というのもありかもしれませんね。(西村)

なにもそうかたを.....(高橋 元吉)
 なにもそうかたをつけたがらなくても
 いいではないか
 なにか得態の知れないものがあり
 なんということなしに
 ひとりでにそうなってしまう
 というのでいいではないか
 咲いたら花だった 吹いたら風だった
 それでいいではないか

“ “今月の催し物のお知らせ” ”

★海の日のおはなし会 No. 9★

～おはなしと音楽の夕べ～

日時 7月19日(日) 夕方5:30～7:30
 会場 伊豆高原駅大クスノキの下
 対象 小学生以上から大人まで
 参加費 無料
 語り手 海の日のおはなし会メンバー&ゲスト
 音楽 AKINO(今回はデュオで)
 主催 伊豆高原・海の日のおはなし会世話人会
 (代表 沙羅の樹文庫・西村)
 後援 伊豆急行株式会社

★沙羅の樹・3周年記念子どものためのおはなし会

7月20日(月)10:30～12:00(文庫で)
 子どもからおとなまで、会員でない方もどうぞ!

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆7月は、20日(海の日)は文庫開館記念おはなし会のみ。おはなし会参加の方のみ終了後本の貸出し有り。

◆8月は変則です。13～17日(木～月)まで開館。全日10:00～15:00(土曜17:00)

◆文庫の時間：土曜日は午後2時～5時、日曜日は午前10時～午後3時

◆毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。午前10:30～11:00

♥文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日でなく第2土曜日ということもあります)。

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
 みんなで勉強会(おはなしの会・沙羅)

★次回は8月15日(土)です。

連絡先：沙羅の樹文庫 電話 0557-51-3737

沙羅の樹文庫便り

No.35

(2009年7月号)



海の日
夏の日々

サキサキと セロリ噛みいて
 あどけなき
 汝を愛する 理由はいらす
 (佐佐木 幸綱)

暑い夏、さわやかに、ゆったりと、そして何気なく、
 周囲を受け入れながら、自分を慈しみながら、過ご
 したいものですね! (さ・ら・さ・ら・と)

8月の文庫は、13日～17日まで開いています。

子どもの本の紹介

★大人の人も読んでみてください!★

『**ブラウンさんのネコ**』(スラウオミール・ウォルスキー作 ヨゼフ・ウィルコン絵 いずみちほこ訳 セーラー出版 1988)

またまた猫の本。お許しあれ! 私事で恐縮ですが、我が家には5匹の猫が居るので、どうしても猫の本を見ると、人にすすめたくなるのです。おまけに我が家の一匹が今回の絵本の主人公「ブラウンさんのネコ」と同名だったからなおさらです。

ある日、ブラウンさんの家へやって来た小さな猫はこげちゃにしましまだったので、とらと名付けられました。ところが我が家のとらと違ってブラウンさん家(ち)のとらは、どんどん食べるのでどんどん大きくなり、とうとうベッドからもはみ出すようになりました。

そして、ある朝、ブラウンさんはとらの体がきいろくなっているのに気付いたのです。何と、とらがトラになっていたんです。

とらがトラになってしまったので、ブラウンさんはとらを動物園に連れて行ったり、サーカスで働かせようとしたりしましたがけれど、とらはやっぱりブラウンさんが大好きで、また一緒に暮らすようになりました。

けれど、とらにとってブラウンさん家の庭は狭すぎたのです。そこで、ブラウンさんは考えました。夜になれば……。

そうです。みんなが寝ている夜の間、とらを散歩に連れ出す事にしました。そして、とらにリードを付けて散歩に出たら……信じられない事が。

誰か勇気のある人、真夜中にひとり静かに桜の里へ行ってみませんか。そこでも、ブラウンさんの所と同じように信じられない事がおきているかもしれませんよ。

まあ、とにかく読んでみてください。(森川 理恵)

今月はこんな本が入ります!

~大人の本~

『**IN**』(桐野夏生著 集英社 09) 『**夜想曲集**』(カズオ・イングロ著 早川書房 09) 『**須賀敦子を読む**』(湯川豊著 新潮社 09)★『**ターシャの庭**』(R. ブラウン写真 メディアファクトリー)★『**運命の人1~4**』(山崎豊子著 文藝春秋 09)★『**植物園の巣穴**』(梨木香歩著 朝日新聞出版 09) 『**骨、家へかえる**』(三角みづ紀著 講談社 09) 『**シェイクスピア・シークレット 上・下**』(ジェニファー・リー・キャレル著 角川書店 09)

『**時間**』『**旅の時間**』(吉田健一著 講談社文芸文庫)

『**八朔の雪**』(高田郁著 角川事務所 09)

『**松居直のすすめる50の絵本 大人のための絵本入門**』(教文館 09)

~子どもの本~

『**ロシアのわらべうた コルネイ・チュコフスキーの絵本**』(偕成社) 『**あっぱは ことばのえほん3**』(谷川俊太郎作 堀内誠一絵 くもん出版) 『**いいなこのおうち**』(軽部武宏作 小学館 05)

『**本所ななふしぎ**』(斉藤洋文 偕成社 09) 『**オックスフォード物語 マリアの夏の日**』(ジリアン・エイブリー作 偕成社 09)

『**ピアノは夢をみる**』(工藤直子詩 あべ弘士絵 09)

『**恐竜トリケラトプスときけんな谷 ラプトル軍団と戦うの巻**』(黒川みつひろ作絵 小峰書店 09)★『**できる! ふしぎ! 楽しい自由研究と工作 3年生~6年生向け 夏休みの課題にもおススメ**』(ブティック社 09)

『**小学生のための読解力をつける魔法の本棚 できる子は本をこうして読んでいる**』(中島克治作 小学館 09)

★印はリクエスト本です。

以下は右欄の課題図書コーナーを参照ください。

『**おこだてませんように**』『**春さんのスケッチブック**』『**ほくの羊をさがして**』『**ヨハネスブルクへの旅**』『**月のえくぼを見た男**』『**夏から夏へ**』

第55回青少年読書感想文全国コンクール 〈課題図書一覧〉

小学校低学年

●『**おこだてませんように**』(くすのきしげのり作 小学館) ●『**しっばいにかんぱい!**』(宮川ひろ作 童心社) ●『**ちょっとまって、きつねさん!**』(光村教育図書) ●『**てとてとてとて**』(浜田桂子作 福音館書店)

小学校中学年

●『**そいつの名前はエメラルド**』(竹下文子作 金の星社) ●『**風をおいかけて、海へ**』(高森千穂作 国土社) ●『**しあわせの子犬たち**』(メアリー・ラバット作 文研出版) ●『**オランウータンのジプシー**』(黒鳥英俊著 ポプラ社)

小学校高学年

●『**春さんのスケッチブック**』(依田逸夫作 汐文社) ●『**ほくの羊をさがして**』(ヴァレリー・ハブズ著 あすなる書房) ●『**ヨハネスブルクへの旅**』(ビヴァリー・ナイドゥー作 さ・え・ら書房) ●『**マタギに育てられたクマ**』(金治直美文 佼成出版社)

中学校の部

●『**8部音符のプレリュード**』(松本祐子作 小峰書店) ●『**時間をまきもどせ!**』(ナンシー・エチメンディ作 徳間書店) ●『**月のえくぼを見た男**』(鹿毛敏夫著 ひくまの出版)

高等学校の部

●『**縞模様のパジャマの少年**』(ジョン・ポイン作 岩波書店) ●『**夏から夏へ**』(佐藤多佳子著 集英社 9) ●『**カレンダーから世界を見る**』(中牧弘充著 白水社)

★下線のものは、文庫に入っています。

★課題図書が即お薦め本とはかぎりません。このコンクールはだいたい、出版社の意向に左右されます。でも各出版社のお勧め本ではあると思います。読んでみてください。感想文を書いてみようと思ってもいいかなくても。

小さいお友だちに耳寄りなお知らせ

近くに子ども文庫ができました!

みかん箱文庫「本よみ室さん家(ち)」
大室高原1丁目 室伏啓子さん (51-6001)
開館: 毎週木曜日 10時~夕方

子どもの本に詳しい読み聞かせのおばさんです。
何より、毎週開いているのが嬉しいですね。